

施策番号	1503		
施策名	関係者の連携・協働の推進		
概要	住民と大学をはじめとした公共的団体・専門機関，行政が連携・協働し，地域福祉活動の活性化を図るとともに，だれもが住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう，住民の権利保障・擁護のしくみづくりを推進する。		
担当局・部室	保健福祉局・生活福祉部	共管局・部室	
上位政策	15 地域福祉		
施策に関する主な分野別計画等	京・地域福祉推進指針		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)契約件数(件)	a	a	608	718	608	118.1%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも書えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとびとが活発に活動している。	38 7.6%	149 29.7%	204 40.6%	73 14.5%	38 7.6%	502	c	
2 -								-
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
		市民生活実感調査総合評価						c

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

<b>B</b>	<b>施策の目的がかなり達成されている</b>						
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 広く一般の市民の方の実感として福祉ニーズに対応できている地域づくりを施策目的としていることから、市民生活実感調査を重視する。						26 年度	B
(原因分析) 【客観指標】事業執行体制の強化とともに制度周知が図られたことから、日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の利用者が着実に増加してきた結果、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】福祉に関わる地域のボランティアの活動の進展について、4割の市民がどちらとも言えないと回答し、昨年度に引き続きc評価となった。参加機会の周知が不十分であることが一因と考えられる。						25 年度	B

#### 今後の方向性の検討

#### ＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)	130,033	138,955	良い	保健福祉局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### ＜今後の方向性＞

- 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の利用件数は増加しているが、待機者も多く、十分に複雑化・多様化している福祉ニーズに対応している状況とは言えないため、福祉を必要としている方のニーズに合わせた福祉サービスの提供ができるよう、地域福祉の推進に取り組んでいく。
- 民生委員の活動等に対する関心と理解が広がるよう取り組んでいく。

施策名	1503	関係者の連携・協働の推進									
指標名	日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）契約件数（件）										
担当課	地域福祉課	連絡先	251-1175								
<b>1 指標の説明</b>											
認知症高齢者、知的障害者や精神障害のあるひとなど、判断力が不十分なために福祉サービスを十分に利用できないひとなどを援助する日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の契約件数											
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>								
判断力が不十分な方に対する地域福祉サービスの充実度を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ								
<b>4 数値</b>											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	25年度	26年度		数値	根拠						
数値	608	718	110件増	608	過去最高値	118.1%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>							
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満		当該指標については民間部門の寄与度が高いことから、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：608件（平成25年度） 平均値：506件 最低値：406件（平成21年度）		<table border="1"> <tr> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>		25	26	27	a	a	a
25	26	27									
a	a	a									